

自殺企図における再発リスク因子の解析とバイオマーカーの検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年2月27日～2023年3月31日

〔研究課題〕

自殺企図における再発リスク因子の解析とバイオマーカーの検討

〔研究目的〕

自殺企図に関連する検査値(バイオマーカー)として諸説ありますが見解の一致は得られておらず、再発リスク因子についても同様です。本研究では、救急搬送された自殺企図患者における再発リスク因子を抽出するために後ろ向き調査を行い、簡便なバイオマーカーがあるか検討します。同時に、常用薬としての向精神薬の服薬状況と自殺行動との関連因子の探索を行います。

〔研究意義〕

過量服薬による急性薬物中毒と診断される患者は繰り返す傾向があります。本研究により自殺企図のバイオマーカーが見いだされれば、自殺未遂によって搬送された患者の退院時における精神医学的なケアの必要性を判断し、適切な対応を取る指標となり得ます。

〔対象・研究方法〕

2013年1月1日～2019年12月31日に自殺企図・意識障害により救急搬送された患者の診療録について後ろ向き調査を行います。データはすべて匿名化されます。調査する項目は次の通りです：性別、年齢、身長、体重、既往歴、自殺企図歴(回数、前回からの期間)、服用した向精神薬の種類(用量・入手経路)、来院までの時間、来院後の検査及び処置、合併症の有無、自殺企図手段(医師の処方薬による過量服薬、市販薬による過量服薬、縊首、リストカット等)、転帰、一般検査(脂質・肝機能・腎機能・総蛋白等の一般生化学、血算)

〔研究機関名〕

帝京大学薬学部、帝京大学医学部、帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

情報は匿名化し、あなたの個人を特定する情報が公表されることはありません。研究により得られたデータが他の目的に使用されることもありません。情報は、情報管理責任者のもと、帝京大学薬学部臨床薬剤学研究室で管理します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：教授 渡邊 真知子

所属：帝京大学 薬学部 臨床薬剤学研究室

住所：東京都板橋区加賀2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 47471]